

# 名古屋外国語大学

URL [nagoyagaidai.com](http://nagoyagaidai.com) (受験生サイト)

〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57 入試広報室 TEL 0561-75-1747



## 世界で活躍するための語学力・教養・専門性を養い、 それらを磨く留学が将来の可能性と選択肢を広げる

### Ranking

北陸・東海

第1位

進路指導教諭が評価する大学

グローバル教育に  
力を入れている大学

### Ranking

全国

第5位  
北陸・東海  
第1位

大学卒業後の進路

2025年キャビンアテンダント  
就職者数

外国語学部・世界教養学部・現代国際学部の3学部9学科3専攻を擁する名古屋外大。高度な外国語運用能力と、世界に通じる教養や専門性を身につけられるグローバル教育を行っています。

また、海外の大学に近い環境で学べる「グローバルキャンパス」が魅力です。名古屋外大には、27の国・地域から127人の外国人教員と、30の国・地域から300人の外国人留学生在籍(2025年度実績)。外国人教員が担当する少人数での“ALL ENGLISH”の講義・演習科目を多数開講しているほか、学生生活でも外国人教員や外国人留学生と日常的に交流することができます。

外国人留学生と交流を深められる取り組みも豊富です。「ランゲージラウンジ」は外国人留学生の母語で交流する場で、さまざまな国や地域の文化・社会を知ることができ、英語はもちろん、複言語プログラムで学んでいる言語での会話にトライする機会となっています。外国人留学生が日本について理解を深める授業「ジャパニスタディーズ」は、全ての科目を英語で開講。在学も履修可能で、海外留学と同様に高度な英語力が求められる環境で、世界から見た“日本”を学びながら英語力を磨いています。

国際社会に通じる教養と専門性を意識したキャリア教育により、グローバル社会が求める多言語・多文化共生の時代に対応できる人材を数多く輩出しています。就職実績も好調で、特に多いのが航空業界です。毎年、国内外の航空会社に多くの学生が就職しています。客室乗務員の採用者数では中部地区で13年連続第1位(2013年3月～2025年3月卒業生実績)の実績を残しています(大学通信調べ)。2024年度は客室乗務員39人を含む104人が航空業界に内定。この実績を支えているのが「エアラインドリカムプラン」です。航空各社と連携した「エアライン・ホスピタリティ科目」を全学部・全学科の学生を対象に開講。また、外資系航空会社の正規訓練施設での研修や就労経験ができる「エアライン・トレーニング・スタディ&インターンシップ」、業界各社の採用試験に向けての「就職支援講座」を開講し、学生を強力にバックアップしています。さらに、全国でも類を見ない航空サービスの学びに特化した「航空サービス留学」も実施しています。



### 2026年度入試 TOPICS

入学検定料  
フリーパス

FREE  
PASS

- 検定料の割引・免除制度「一般選抜入学検定料フリーパス」を設定。1回分の入学検定料35,000円ですべての試験区分・試験日程に出願が可能(一般選抜 共通テスト利用のみの組み合わせは、15,000円)。ただし、一括同時出願に限ります。
- 一般選抜前期の各試験区分において、3学科まで併願することができます。

### 学部/学科情報

- 外国語学部/英米語学科(英米語専攻、英語コミュニケーション専攻、英語教育専攻)、フランス語学科、中国語学科
- 世界教養学部/世界教養学科、国際日本学科
- 現代国際学部/現代英語学科、国際教養学科、グローバルビジネス学科、グローバル共生学科

### 主な Ranking Data

2025年著名400社 業種別実就職率(運輸)	卒	全国私立大第2位
女子学生の比率 (文、外国語学部)	朝	全国第11位
入学後、 生徒の満足度が高い大学	進	北陸・東海私立大第3位
教育力が高い大学	進	北陸・東海私立大第7位
面倒見が良い大学	進	北陸・東海私立大第7位

### Information

#### “留学費用全額支援”制度

留学を志す学生を支えているのが、“留学費用全額支援”制度です。留学先大学の授業料はもちろん、「渡航費、居住費、教科書代、保険料、留学ビザ申請料」を大学が全額支援します。2024年度は対象者の8割が利用しています。独自の国際交流協定校は世界36の国・地域198大学。2か国留学や航空サービス留学など、多彩な留学プログラムを用意しています。

### Information

#### PUT(パワーアップチュートリアル)

学生4人と外国人教員1人の超少人数で行うALL ENGLISHの英会話授業「PUT」を全学部・全学科で1年次に開講。さまざまな国籍とバックボーンを持った外国人教員が授業を担当し、基盤となる“英語で考え発信する力”を養います。また、フランス語学科では「英語」に加え「フランス語」の「PUT」を、中国語学科では「中国語」の「PUT」を2年次に実施しています。